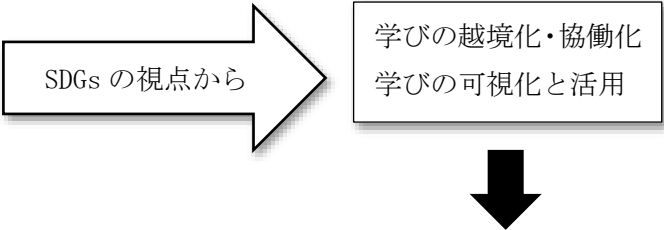


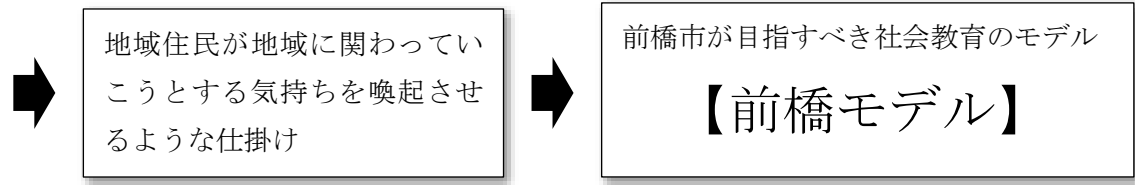
【2017年の提言】

- ・公民館の「専門性」と「越境性」について
- ・地域のつながりや支え合いを創出するコミュニティーセンターの在り方について
- ・コミュニティースクールにおける学校・家庭・地域との連携・協働の在り方について
- ・これからの社会教育・社会教育行政に求められる視点と役割



【過去の提言】

- 「地域づくりに生かす社会教育」(2007年)
- 「社会教育を推進するための人材の発掘と養成」(2011年)
- 「社会性を育む社会教育」(2015年)



【今回の提言】

「誰一人取り残すことなく、全ての世代の市民が学びと協働を通してつながりあい、地域にその学びを還元することを目指す」

➡ このような【前橋モデル】をさらに磨き上げるために、若者・高校生・公民館について検討を重ねた結果



<p>若者の力を活かす仕掛け</p> <p>NPO 法人の実践から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人 Design Net-works Association ・ NPO 法人 Next Generation <p>地域寺子屋事業</p> <p>前橋市高校生学習室</p> <p><u>地域課題の解決に向けて活動する意欲と能力を備えた若者がいることを意識したい。</u></p>	<p>高校生の学び</p> <p>学習指導要領の改訂から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に開かれた教育課程 ・ 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 <p>各学校の実践から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前橋市立前橋高校 ・ 県立前橋高校 <p><u>学校教育と社会教育の枠組みを超えた組織づくりや、支援体制を整備していきたい。</u></p>	<p>公民館への期待</p> <p>前橋市公民館運営審議会答申から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体、組織等との連携による事業展開 ・ 学校との連携 ・ 学習成果の還元 <p>地域のコーディネーターとしての役割</p> <p><u>組織的に学びの実践が行われること、また評価や学習の証明ができるようにしていきたい。</u></p>
<p>学びのまじりあい</p> <p>【リアル】と【バーチャル】 ➡ それぞれの良さがまじわる学びへ</p>		<p>様々なバックグラウンドを持った人たちのまじりあい</p> <p>SDGs・LGBTQ等 ➡ 誰ひとり取り残さない、特別な存在を浮き立たせない社会へ</p>